

令和3年度(2021年度)

管理事業名	南千里庁舎管理事業			総合計画の体系	大綱 - 政策 - 施策 -	-		
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 1	土木管理費	(目) 1	土木総務費	
部局名	土木部	予算執行所属	総務交通室					
予算大事業名	南千里庁舎管理事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)土木管理費(目)北部消防庁舎等複合施設建設費 北部消防庁舎等複合施設建設事業					
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> 吹田市南千里庁舎の維持管理を行います。 <b>【概要】</b> 南千里庁舎管理事業(南千里庁舎の施設及び設備の保守点検、修繕等に関すること) 北部消防庁舎等複合施設建設事業(北部消防庁舎等複合施設のうち土木庁舎の建設に関すること)								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
庁舎使用率	%	100	100	100	吹田市南千里庁舎の延床面積に対して、庁舎として使用している割合
成果の説明	土木部内各室の事務室及び倉庫として有効に活用しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	880	58	608	551
経常収入 小計(a)	880	58	608	551
経常費用				
給与関係費	14,356	14,294	14,220	△73
物件費	19,681	19,784	19,481	△303
維持補修費	13,069	7,005	1,069	△5,935
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3	15	36	21
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	8,907	8,418	8,418	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,318	1,315	1,159	△156
退職手当引当金繰入額	5,859	579	712	133
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	63,192	51,409	45,096	△6,313
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△62,312	△51,352	△44,487	6,864
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	10,650	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	10,650	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△10,650	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△72,963	△51,352	△44,487	6,864
一般財源充当額	48,344	43,556	79,344	35,787
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△24,618	△7,795	34,856	42,652

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
維持補修費	南千里庁舎建物等修繕に係る経費 1,069千円(5,935千円の減)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	904	27	639	612
行政サービス活動支出	49,248	43,583	37,099	△6,484
行政サービス活動収支差額	△48,344	△43,556	△36,460	7,096
投資活動収入	-	-	70,000	70,000
投資活動支出	-	-	112,884	112,884
投資活動収支差額	-	-	△42,884	△42,884
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△48,344	△43,556	△79,344	△35,787
一般財源充当額	48,344	43,556	79,344	35,787
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	金額
(投資活動収入) 公共施設等整備基金繰入金	70,000千円
(投資活動支出) 北部消防庁舎等複合施設建設工事	112,884千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
建物1㎡あたりのコスト	令和元年度	3,480 m <sup>2</sup>	18,159 円	令和2年度は空調設備等の修繕に係る経費が増加しましたが、令和3年度は大規模な修繕がなかったため、単位あたりコストが減少しています。
	令和2年度	3,480 m <sup>2</sup>	14,773 円	
	令和3年度	3,480 m <sup>2</sup>	12,959 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債		1,315	1,159	△156
	未収金	31	-	△31	地方債		-	-	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金		-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金		1,315	1,159	△156
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金		-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務		-	-	-
固定資産	有形固定資産	549,947	654,412	104,465	固定負債		11,865	11,599	△266
	土地	465,063	465,063	-	地方債		-	-	-
	建物・工作物	84,884	76,466	△8,418	長期借入金		-	-	-
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金		11,865	11,599	△266
	建設仮勘定	-	112,884	112,884	リース債務		-	-	-
	無形固定資産	-	-	-	その他固定負債		-	-	-
	インフラ資産	-	-	-	負債の部合計		13,180	12,758	△422
	重要物品	-	-	-	純資産		536,798	641,654	104,856
	図書館資料	-	-	-					
	投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計		536,798	641,654	104,856
出資金	-	-	-						
長期貸付金	-	-	-						
基金	-	-	-						
徴収不能引当金	-	-	-						
その他債権	-	-	-						
資産の部合計	549,978	654,412	104,435	負債及び純資産の部合計		549,978	654,412	104,435	

Ⅲ 財務構造分析

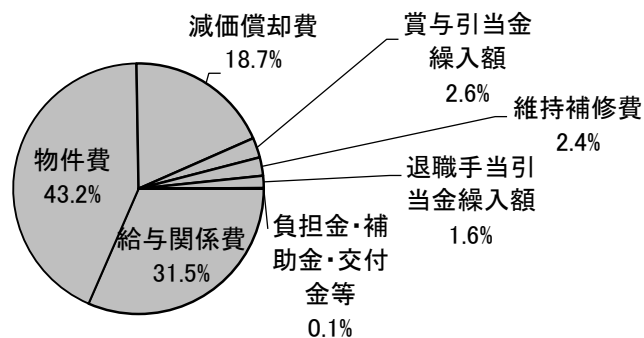
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	2人		0日	
給与関係費等	16,092千円		0千円	16,092
内、時間外勤務手当	0千円			

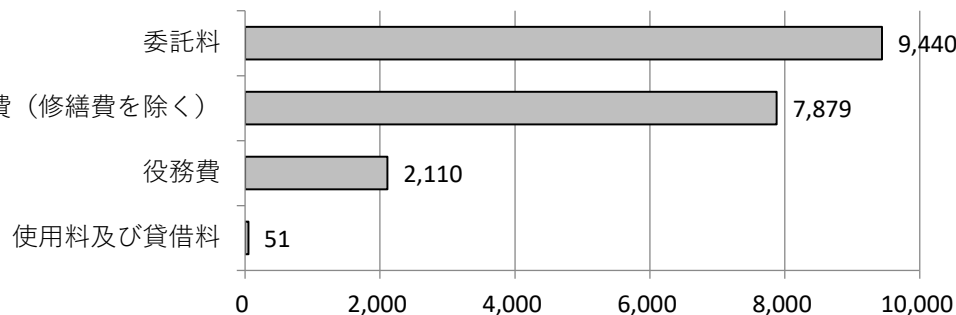
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	南千里庁舎建物の減価償却等により8,418千円の減
建設仮勘定	北部消防庁舎等複合施設建設工事112,884千円の増

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市南千里庁舎
取得年月日	昭和56年(1981年)4月1日
建物・工作物の取得価額	506,010 千円
建物・工作物の減価償却累計額	429,544 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率		2.6	1.4	0.2	△1.2
施設老朽化比率		81.6	83.2	84.9	1.7
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.2	99.9	52.9	△47.0
経常費用対公共資産比率		12.5	10.2	8.9	△1.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものは、物件費19,481千円(43.25%)、給与関係費14,220千円(27.8%)、減価償却費8,418千円(18.7%)、維持補修費1,069千円(2.4%)等で経常費用全体の92.15%となっており、昨年度にくらべ維持補修費5,936千円の減となっています。施設老朽化比率については、市保有施設全体の老朽化比率が57.6%であるのに対して、南千里庁舎は84.9%と高い比率となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

南千里庁舎は、昭和56年(1981年)の竣工から40年が経過しており、施設老朽化比率は84.92%と市保有施設全体の同比率57.6%を大きく上回っています。施設の老朽化に伴う経年劣化により、空調設備の故障など修繕に係る経費が増加していますが、厳しい財政状況のもと十分な修繕費が確保できず、必要最低限の修繕のみの実施となっています。また、南千里庁舎は、災害発生時には道路復旧等の拠点となる重要な施設であることなどから、施設の適切な維持管理や機能向上のため南千里駅西側の第13駐車場跡地に北消防署、中消防庁舎、南千里庁舎及び教育センター等の各機能を集約した「北部消防庁舎等複合施設」の建設を進めています。